

環境都市常任委員会

(令和6年7月16日)

環境都市常任委員会

午前 10 時 05 分 開会

○大野祐司委員長 ただいまから、環境都市常任委員会を開会します。

本日の会議は、タブレット端末に掲載した日程により進めてまいります。

それでは、2、協議事項、(1)、人手不足の状況下における持続可能な地域経済の活性化についてを議題といたします。

前回の協議会の中で、皆様からいただきました原因分析につきまして、正・副委員長で取りまとめたものが資料1となります。

協議会の中では、業種ごとに原因を出してもらいましたが、共通している部分があったため、原因分析ごとにカテゴリー分けをしております。

このほか、原因分析に追加したい事項がございましたら、7月中に議会局へ御提出ください。

それでは、本日は、原因に対する戦略につきまして、2、3分程度で皆様から御意見をいただきたいと思います。

できればこの要因分析を踏まえての戦略にしていいただければと思います。

吉村委員。

○吉村慶一委員 農業分野について、秦野市農業協同組合と提携して何かできればいいかなと思いました。

最初から専業でやるのはハードルが高いとを感じるため、まずは兼業でやることによって生計を立てやすくなるのかなと。

農業をやりたいとか、好きという人は一定程度いると思うので、産業分野とも協力して働く場所を確保しつつ、農業もやってもらうような環境づくりができればいいのかなと思いました。

○大野祐司委員長 伊藤委員。

○伊藤大輔委員 農業分野で言えば、兼業農家の支援ができればいいと思います。吉村委員も言われたとおり。

環境都市常任委員会で視察に行った際に、やっているところがあった、筋肉を大事にしている人に特化して採用するみたいな、偏ったニーズに絞って求人を出すというのもすごく効果的なのかなと思います。

農業は、クリエイティブな職業と相性がいいのではないかな。

その辺の偏った手法を試してもいいのかなと思いました。

もう1つは、電子地域通貨を使用して、地域コミュニティの活性化をしたい。

例えば、田植えを手伝ってくれたらポイントを付与するような。

主婦や高齢者の隙間時間を活用して、電子地域ポイントと組み合わせていくようなこ

とができたらいいのではないか。

地域コミュニティの再生のために、電子地域通貨を使ってほしいという提言がいいと思うのです。

以上です。

○大野祐司委員長 他にございますか。

風間委員。

○風間正子委員 今すぐに人手不足を解消するのは、なかなか難しいかもしれないけれども、若い人たちがいずれ戻ってきたときに、市内の企業で働いてもらうことも必要なことだと感じています。

○大野祐司委員長 阿蘇委員。

○阿蘇佳一委員 人口減少と人手不足は密接な関係があり、子供が増えないとなかなか労働力は上がっていかない中で、魅力あるまちでないと人は来てくれないため、国家的な難しい問題だと思います。

その中で、若い力として東海大学との連携がもう少しできないかなと思っております。

○大野祐司委員長 高橋委員。

○高橋文雄委員 全体として、農業や建設業など肉体労働の分野はやはり人気がないと思います。

若い世代で働いていない人も多いため、そういう人がいるということが問題かなと思いますね。

○大野祐司委員長 田中委員。

○田中めぐみ委員 今、秦野で職を求めている、働けていない人のマッチングができたらいいかなと思います。

どういう人が、職を求めているけど、仕事に就くことができていないのか、もう少し実態を調べたいと思いました。

○大野祐司委員長 皆様の意見を聞いて、改めて新しい意見などあれば発言してください。

阿蘇委員。

○阿蘇佳一委員 議員生活を長くやっているけれども、元気な高齢者で仕事に就いていない人が多くいると感じるため、高齢者のパワーをもっと生かすことを市として力を入れていくべきではないかと思っています。

高齢者が求めている仕事と社会が求めていることのマッチングが必要になるのかなと。

高齢者が元気に働けるまちを目指す必要があるかな。

○大野祐司委員長 伊藤委員。

○伊藤大輔委員 阿蘇委員の発言を受けて、少子高齢化が大きな人手不足の原因であると思いますので、高齢者の知識や経験をもっと生かす仕組みづくりが必要になると思う

ので、地域コミュニティーを活性化させるためにも、電子地域通貨を活用していくことが少しは、問題解決になるのかなと改めて思いました。

○大野祐司委員長 今、皆様から御意見をいただきまして、私のほうでも考えたり、思ったことがあります。

人に代わるもので考えると、D Xや職場環境の改善であるとか、労働条件の改善。

マッチングで考えると、リスキリングなどがあるのかなと感想を述べさせていただきました。

暫時休憩します。

午前 10 時 27 分 休憩

午前 10 時 34 分 再開

○大野祐司委員長 再開いたします。

それでは、いただいた意見を正・副委員長で取りまとめさせていただいた上で、8月の常任委員会の際に御報告させていただきたいと思います。

次にその他ですが、皆様から何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大野祐司委員長 以上で環境都市常任委員会を閉会いたします。

午前 10 時 34 分 閉会

環境都市常任委員会委員長 _____